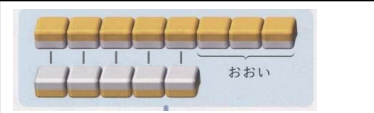
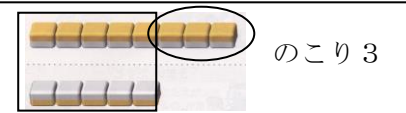


令和2年度 1年 算数科授業の略案

月日 (校時)	単元名	教材名
7月3日 (金) 2校時	のこりはいくつ ちがいはいくつ	
本時のねらい (6 / 9時間) ○求差の場合について、減法の意味を理解する。		
評価規準 思・判・表 求差の場面を、減法としてとらえ、ブロック操作や減法の式に表し説明している。(ノート・観察) 知・技 求差の場合について、減法の意味を理解し、減法の式に表すことができる。(ノート・観察)		
学習課程	学習活動 (○発問・予想される児童の反応)	留意事項・評価
【振り返り】	1 前時の振り返りをペアで伝え合う。 ・ペアでぶつぶつ振り返りを共有する。	
【展開】 問題提示 9:25 問いをもつ 見通し 課題設定 9:30 ・シラバス ・言語わざ 解決活動 9:35 ・一人学び ・ペア学び 9:45 集団解決 全体共有 10:00 まとめ 【終末】 10:05 適応問題 10:10 振り返り	2 問題を読む。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> きいろい おりがみが 8まい あります。 みどりの おりがみが 5まい あります。 きいろい おりがみは、みどりの おりがみより なんまい おおいでしょうか。 </div> ○気づいたことを言いましょう。 ㊦ きいろいおりがみが8まい みどりのおりがみが5まい ㊦ きいろいおりがみは、みどりのおりがみよりなんまいおおいでしょうか。 ・たんいは、「まい」です。 ・おりがみを並べたら、わかりやすいです。 ・ブロックを動かしたら、わかりやすいです。 ・きいろいおりがみがみどりのおりがみよりおおいことがわかります。 課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> どちらが いくつおおいか かんがえよう。 </div> (一人 (5分) ペア学び (5分) 全体学び (15分) まとめ (5分) 練習問題 (5分) 振り返り (5分)) 「りゆうをつかってせつめいする。」 3 一人学び (自力解決) を行う。 ○ブロックを使って、説明を行う。 (例) <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>しき $8 - 5 = 3$ こたえ 3まい</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>のこり 3 しき $8 - 5 = 3$ こたえ 3まい</p> </div> </div>	・わかっていることに青線、きかれていることに赤線を引き、単位にも丸をする。 ・ハンドサインチェックを行い、自力解決ができるようにする。 【キーワード】 ひきざん・わかっていること・きかれていること ぶろっく・おおい ・ホワイトボードを使い、操作をしやすくする。 ・支援の必要な児童には、ヒントカードを渡す。
	4 ペア学びを行う。(ぶらぶら) ○ペアで自分の意見を伝え合いましょう。 ・ブロックを一つずつ線でつなぎました。すると残ったのが3個だったので、きいろい折り紙が3枚多いと分かりました。 5 全体学びを行う。 ○友だちの意見で分かりやすかったのを紹介してください。 ・○○さんの意見が分かりやすかったです。理由は、ブロックをまるでかこんでいたからです。 ・△△さんの意見が分かりやすかったです。理由は、しきとこたえを書いていたからです。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> (どちらが いくつ おおいのときは、) ひきざんを つかう。 </div>	思・判・表 求差の場面を、減法としてとらえ、ブロック操作や減法の式に表し説明している。(ノート・観察)
	6 教科書の練習問題に取り組む。 7 学習したことを振り返る。	知・技 求差の場合について、減法の意味を理解し、減法の式に表すことができる。(ノート・観察) ・振り返りの視点を示す。